

かや たかゆきの ほうれんそう

愛川町議会議員

第9号



議会の報告

後援会の連絡

皆さんからの相談

「自殺者ゼロの町」を目指して！

人の命は地球よりも重い。と言われます。ですが、現在の社会情勢では自らの手でいのちを終わらせてしまう人がいます。社会環境や人間関係などで精神的に追い込まれたり、コロナ禍で生活環境が変わったり、様々な理由があります。多くの原因がありますが、皆が救いの手を差し伸べてあげたり、自殺まで追い込まれないような環境を作ることが一番大切だと思います。そこで、町としては「自殺者ゼロの町」を目指して、暮らしやすい町にすることが必要だと考え、一般質問として提言を行いました。

愛川町として出来る事。

・考え込む前に相談を

町では自殺防止対策として、福祉支援課が窓口となり、様々な問題解決に向けて取り組んでいます。ご本人やご家族、友人のちょっとした変化や前兆があれば、すぐに問い合わせが出来る窓口がある事の広報活動を更に強化することを要望しました。

愛川町役場 福祉支援課
046-285-6928

・生活困窮者への支援やPR

コロナ禍で社会情勢が変わり仕事を失ったり、減給して生活に困り、自殺に追い込まれる方が多いとニュースでよく見ます。愛川町社会福祉協議会では、生活に困った方々の相談を行っています。(緊急援護資金貸付・生活福祉資金貸付・フードバンク事業の実施) よって、町民の皆さんが気軽に相談が出来るように広くPRしていくことを町に提言をしました。

愛川町社会福祉協議会
046-285-2111
内線3791 3792 3793 3794

自殺させないためにも！

・こころサポーターの育成強化！

こころのサポーター(ゲートキーパー)とは、「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人」です。町内に、こころサポーター(ゲートキーパー)を増やすことによって、自殺を考えている方を思いとどまらせてあげることが出来ます。現在、町では講習会を行っていますが、今まで以上に増やしていくためにも、更なる周知を行う事を要望しました。

私自身も、神奈川県神奈川県精神保健福祉センターのゲートキーパー養成講座を受けてゲートキーパーになりました。ゲートキーパー手帳の詳細はこちらから↓



細かな気配りや心配りも！

・小中学生の心のケアも大切

現在、町では児童・生徒に「いのちの大切さ」を教える自己肯定感を高める教育事業の開催やICTによるイジメや誹謗中傷などの事件に巻き込まれるリスクを未然に防止する事業を行っています。コロナ禍ということで事件が多いので、これらの事業をより強化し、自殺を考える前に芽を摘んであげることの大切さを提言しました。

・民生委員さんのボトムアップ

地域の方々に寄り添いながら見守り活動を行い、問題を解決するために頑張っている民生委員さん。現在の社会情勢では様々な問題が増え、それに対応するには様々な研修が必要になると考えます。町として自殺予防に関わるスキルアップ研修の提供ができるように要望しました。

もし、悩みを抱えていたら厚生労働省の「まもろうよこころ」というサイトもあります。電話でもSNSでも相談出来ます。



中津太田の交差点に歩行者用信号機が設置されました！

令和4年1月25日、中津太田の交差点に歩行者専用の信号機が設置されました。この交差点は内陸工業団地と中津中央商店街の境にある交差点で、大型トラックや乗用車などの交通量が多く、歩行者を巻き込む事故が多発して危ないので、多くの住民の方々から歩行者専用信号機の設置の要望があった交差点です。

令和2年の春に愛川町役場住民課を經由して厚木警察署に要望し、2年の月日が経ちましたが設置が実現いたしました。これからも町民の皆様の安心・安全な町づくりに向けて、皆様の声を町政に届けて行きます。

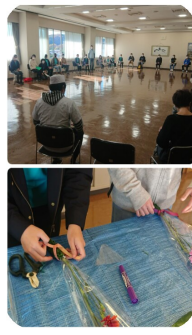
今回の要望は、ほうれんそう第2号で掲載させて頂きました。



かや たかゆきの活動報告12月～2月



愛川町社会教育委員会議に出席しました。来年には愛川町で神奈川県の研究が行われるので準備していきます。



ジュニアリーダーズクラブの「あいかわこどものまち」として、事業の準備や講師を行い、子ども達の笑顔が見れました。



八菅橋令和の広場推進協議会の事業として草刈り機やチェーンソーを取り扱う講習会を行いました。



半原ワサビまちづくりプロジェクトの活動で半原ワサビの葉などを使った新メニューの開発を行いました。



愛川町消防団第3分団の歳末特別警戒の激励巡視です。OB会長・支援隊の隊員として現役団員を激励してきました。



まちづくり団体の公益社団法人厚木青年会議所の新年式典に議会議員として第46代歴代理事長として出席しました。



所管事務調査で予算執行を確認し、今回は熱海市の土石流災害派遣の教訓でコンクリートカッター等を購入しました。



地元の二井坂区自治会の関連団体である壮友会主催のどんど焼きに会員として参加して無病息災を祈願しました。

町民の皆様と行政の懸け橋役として！

おかげさまで、広報誌やSNS等を通じて町への要望などを多く頂けるようになってきました。私は町民の皆様が、町をもっと良くして行きたい!と想う気持ちを大切に、その想いを町へ届ける懸け橋役になりたいと思っています。これからも、町民の皆様と行政の距離が身近に感じられ、まちづくりに積極的に参画できる環境を作ります! **要望がありましたら、茅までご連絡を。09036959357**

香害をなくそうプロジェクト!

香害(こうがい)という害がある事はご存知でしょうか? 香りのある柔軟剤や香水などの香りを嗅ぐと、頭痛や動悸、めまい、重度の方は意識を失ってしまうこともあります。

今回は、香害でお悩みの方が、多くの方々に香害について知ってもらいたい活動として「香害をなくそうプロジェクト」を行っています。町としても多くの町民の皆様を知ってもらえるように広報して欲しい事と、もし香害にあった患者さんやそのご家族のために救急隊員の皆様にも香害の対応策などを知って欲しいと思ひ、消防署にも要望させて頂きました。

右の写真のキーホルダーを身につけている方がいられたら、風下に立つか、少し離れて会話して下さい。



中津川河川敷の美化運動!

愛川町に所在する法人さんが中津川の河川敷を綺麗にする活動を行いたい!という事で要望がありました。河川敷の美化運動で集められたゴミを美化プラントで処分して頂きたいとの事でした。

法人さんは企業内で話し合わせ、毎週月曜日の朝の状況を公式ツイッターなどのSNSで発信し、周知活動をしたり、社員さんでゴミを集める活動をしています。綺麗でゴミの無い河川敷だとゴミを捨てづらい環境が作れます。

よって、法人さんは綺麗な環境を作りながらも、綺麗な河川敷の広報にも努めて頂いています。現在は企業理念や計画書の提出により、行政や美化プラントの協力のもと、事業が行えています。



愛川時間 創刊号の御礼で町長に表敬訪問

地域の情報誌である厚木時間や海老名時間で有名な日本デジタルワークスさんと愛川町が協力をして、愛川時間の創刊号が令和3年11月に創刊されました。個性あふれる記事が掲載されていて、お陰様で大反響でした。

今回は小野澤町長に創刊号の御礼と、今後の発行についてお話をさせて頂きました。私も発行に関われ、町との懸け橋役になれて嬉しい限りです。



12月議会の一般質問をご覧頂けます!

12月議会で行った「だれもが働きたくなる愛川町役場へ」という職場環境改善の一般質問を録画でご覧頂けます。

冒頭の2分ほど、私が町に対する想いを述べていますので、そこだけでもご覧頂ければ幸いです。全体で1時間あります。QRコードからご覧ください。



編集後記

広報誌を通じて沢山の方々から要望やまちづくりについてご相談があります。一つ一つ解決をして、町民の皆様が笑顔になり、その笑顔が見れる事が私の幸せであり、何よりも凄くパワーを頂けます。

町民の皆様の声は、町にとって大切な物であり、暮らしやすいまちの実現に繋がります。今回の号は、「皆様の要望は必ず実現できる!」そんな想いから作らせて頂きました。これからも「かやに頼めば町に要望できる!」と思って貰える議員でいたいと思います。

次号の新聞折込は6月3日金曜日を予定しています。

